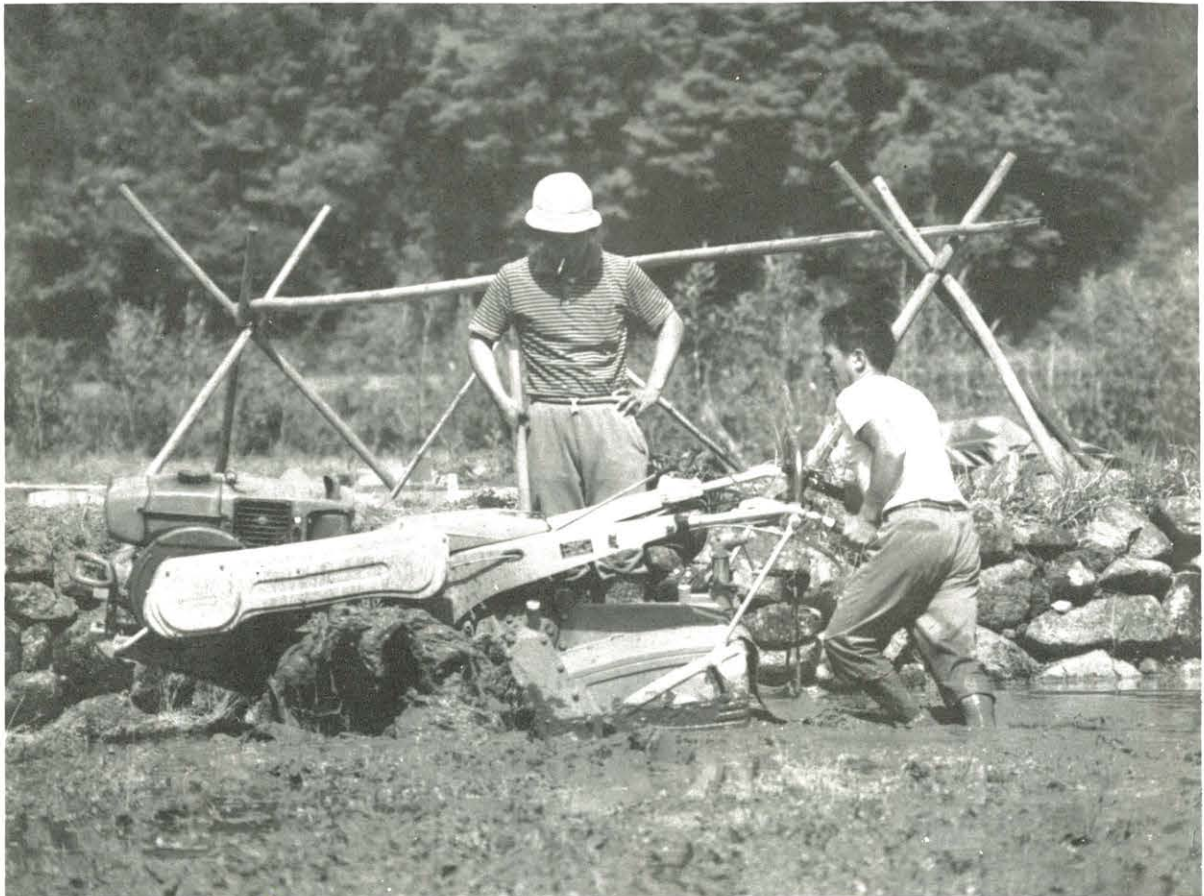


4月末の人口  
 世帯数 616  
 男 818 人  
 女 795 人  
 計 1,613 人  
 (馬路 1,102人)  
 (魚梁瀬 511人)


**広報**  
**うま**

昭和60年5月15日発行  
 第一二二号  
 編集 馬路村教育委員会  
 印刷 安芸印刷



農耕シーズン幕あけ (5月3日撮影 古田地区で)

6月5日～11日 環境週間



たばこの吸いからも  
 ゴミのうち

考えよう！みんなで  
 なくそうむだなゴミ

6月9日(日) 村内一斉清掃の日

# 今月のスポット

## 3月

- 15日 林業講演会 (就改センター)
- 17日 魚梁瀬中学校卒業式 (魚梁瀬体育館)
- 23日 馬路村内年齢別ピッタリ駅伝 (魚梁瀬)
- 25日 魚梁瀬保育所卒園式 (魚梁瀬保育所)
- 26日 村植樹祭・庄屋祭・村定例表彰
- 26日 総務常任委員会 (就改センター)
- 26日 馬路保育所卒園式 (馬路保育所)
- 28日 林業振興地域育成対策協議会 (就改センター)
- 28日 健康づくり推進協議会 (就改センター)
- 30日 臨時村議会開会 (就改センター)

## 4月

- 1日 役場新採職員辞令交付式 (馬路村役場)
- 1日 魚梁瀬営林署・馬路事務所合同山祭 (就改センターほか)
- 2日 健康相談 (魚梁瀬公民館)
- 6日～15日 春の全国交通安全運動
- 8日 村内小・中学校入学式
- 9日 馬路婦人会総会 (就改センター)
- 10日 人権相談 (就改センター)
- 10日 馬路体育会総会 (就改センター)
- 15日～19日 馬路・魚梁瀬中学校合同修学旅行 (広島・北九州)
- 16日 電発・県・村三者会談 (コミセン)
- 17日 馬路保育所交通安全教室
- 19日 魚梁瀬保育所交通安全教室
- 19日 青年・青年OB大いに語る会 (就改センター)
- 20日 馬路地区職域ソフトボール大会 (馬路村民運動場)
- 24日 魚梁瀬営林署・森林組合・村協議会 (魚梁瀬)
- 24日 アメゴ放流 (東川・中川・西川、50kg)
- 25日 魚梁瀬地区総合検診 (魚梁瀬体育館)
- 25日 アユ放流 (東川・中川・西川、130kg)
- 26日 馬路地区総合検診 (就改センター)
- 30日 魚梁瀬老人クラブ総会 (魚梁瀬公民館)
- 30日 アユ放流 (馬路中央橋・落合橋ほか 350kg)

## 5月

- 2日 農業委員会 (就改センター)
- 4日 同和問題意識調査会 (就改センター)
- 7日 アユ放流 (平瀬・朝日出ほか 350kg)
- 8日～16日 固定資産税説明会 (各部落)
- 8日 魚梁瀬小学校交通安全教室
- 8日 村内中学校森林教室 (魚梁瀬一の谷山国有林)
- 9日～11日 馬路・魚梁瀬小学校合同修学旅行 (岡山・小豆島方面)
- 11日 安田川漁業組合馬路支部会 (就改センター)

## フォト・フォーカス



↑ 3月26日 村植樹祭



↑ 3月26日 馬路保育所卒園式



↑ 4月26日 馬路地区総合検診



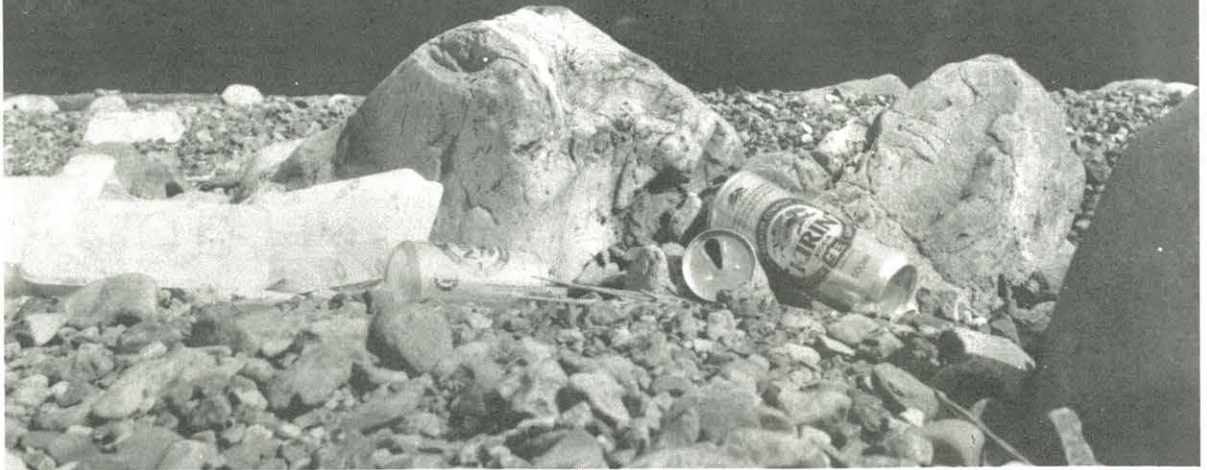
↑ 4月30日 アユの稚魚放流



↑ 5月8日 村内中学校森林教室

村内あちらこちら

# なぜこんなことするの！



## 社会の マナー

わかってはいるのに  
どうして守れない

ここに載せた写真は、最近の村内のもので。ごらんのよう、空きカンやチリが、コミセンの下の川原などに、たくさん投げ捨てられています。

郵便局前の電話ボックスには、毎日のように、たばこの吸い殻が捨てられていて、郵便局の人たちが始末をしています。

また、運動会やソフトボールなどでグラウンドを開放したときには、必ずといっていいほど吸い殻

らやチリが残されています。それも、吸い殻入れやチリカゴが置かれていないにもかかわらず……。

そして、次の日には、その場所が子どもたちのスポーツに励む場になっているのです。

このような状態を、あなたはどう思いますか——。

道路や公園、川などに、ゴミを捨ててはいけないことは、だれもが知っています。しかし、それが実際には、守られていないことも

事実なのです。

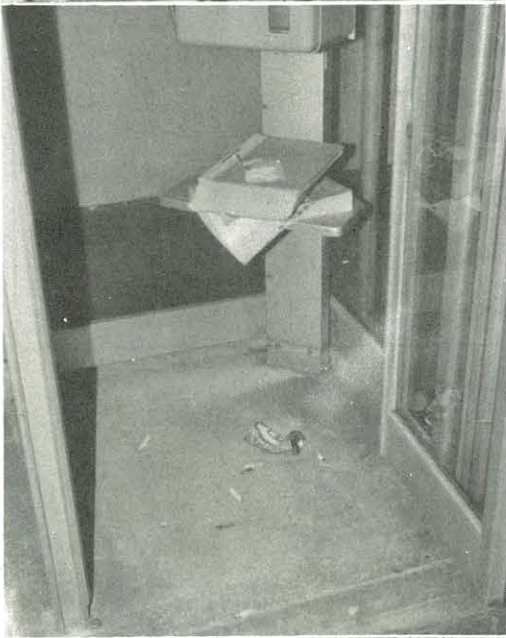
このようなマナー、あるいは、公衆道徳を守ることによって、私たちの快適な生活環境が維持されることは、いうまでもありません。

六月五日は「世界環境デー」。この日から十一日までの一週間は「環境週間」です。馬路村では、六月九日(日)に村内一斉清掃が予定されています。あなたが投げ捨てた空きカンなどは、だれかほかの良識ある人たちの手によって始末されたか、そのまま残されているか、どちらかなのです。

この機会にもう一度、公衆道徳などについて、考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

↑長瀬の川原に残された空きカンやゴミ

←電話ボックスは喫茶店ではありません



→チリカゴと吸い殻入れの

区別もつかないなんて……。



## 大いに語る 青年・OB

(司会・清岡博之)

出席者

(写真右から)

- 小松 博(31 馬路森林組合)
- 岡田長康(50 馬路村教育長)
- 南木大助(29 コミセン)
- 東谷望史(33 馬路村農協)
- 川本締示(25 川本建設)
- 清岡博基(43 馬路村商工会)
- 小松千歳(61 馬路村長)
- 田中正義(24 林材加工組合)
- 山崎 出(20 馬路村役場)
- 清岡博之(31 教育委員会)
- 小松美和(36 主婦)
- 岩城和登(24 森林工芸)

馬路村の人口、千六百十三人。そのうちに年齢二十歳代の若者が、百八十一人含まれています。村の年齢別人口構成バランスでは、若者の都市流出、村の過疎化を反映してか、やや少ないものの、これからの馬路村を担う立場からいえば、大きな期待がかけられる年齢層です。

また、今年、「参加・開発・平和」をテーマとして、国際連合が定めた「国際青年年(IYY)」にもあたる年です。

そこで、村内に住む青年・青年OBの代表と村の関係者で座談会を開き、参加者の意見・提言をまとめてみました。

その名称は、「青年と村づくりを大いに語る会」です。

### まとめりが強かった 昔の青年

司会 まず、ご自分の青年期について自慢話をどうぞ。

村長 一番古い人間から話しましょうか。私たちの時代は、端的

に言って、青年のまとめりが大変強かったですね。戦争という特異な時代背景があったにしろ、青年団が中心となって、今に言う「村おこし」のようなこともしていました。神祭などで、芝居をやったことを楽しく思い出します。

東谷 今から十数年前ですが、途絶えていた青年団活動を、みんなで復活させました。常時、二十人ぐらいでしたが、目的を持って横の広がりを感じていましたよ。

清岡 私の場合は、時代的には日本が高度成長期へ突入する前後でした。だから、馬路村でも村民の目は、町へ町へと向いていましたね。しかし、村へ居残る青年は、少ないけれども、酒をくみかわし熱っぽく、青年期や村について語りました。だから、今でもその連中とは、深い付き合いがあります。

### 自発性がうすい 今の青年?

司会 さて、現在、青年団活動がないわけですが、その原因と今の青年について一言。

東谷 やはり、リーダー不足でしょうね。もちろん時代の変化も大きな原因でしょうが、それと、自発的にこうしたい、こうしなければならぬという強い意欲が、薄いように感じられます。仕事面でも、言われたことはするが、それから先がないというふうな……。

小松博 それについては、大いに言えます。ですから、私たち青年卒業組が、一つリードしていく。特に、団活動のない現状では、職場でそれが求められますね。

司会 青年の動きとして注目されている農協青年部ですが、活動

の動機は何でしたか。

東谷 馬路村で住もうとする若者どうし、農業を学び合いながら青年期の横のつながりを深め、お互いを高めようとするからです。カッコ良く言えば。

小松博 現実には、泥にまみれて米を作り、もちをつけて売り、いっぱい飲むというのですよ。

### 青年団活動の 必要性は……

司会 さて、青年期のどまん中の人の意見を伺いましょうか。

川本 (うーん) 馬路の青年共通の認識ではないかと思うのですが、青年団活動についての必要性をカッチリとつかみきれていないのです。だから、趣味やスポーツ面だけの集まりが現実です。

岩城 「今の青年はしょうたれちゅう」という話をたびたび聞くわけですが、さて青年団活動となると何をしようのか分からないのです。集まる場もないしね。

川本 そう、酒を飲んでいて良い話が出て、それを幅広く話し合える場がないような。

田中 また、団などと規則に縛られるのを嫌いますし。

小松博 私たちのころの団活動もそうでした。こうせにゃあいかんなどと圧迫をかけられると、活動が低下する。だから、試行錯誤の繰り返しから、青年自身で何か



を求め、組織していくべきです。

**自主性にめざめる  
ことが大切**

司会 馬路村の青年の課題について、もう少し掘り下げてみたいと思います。

南木 馬路村に住もうとしたとき、つまり、Uターンするなり、就職しようとするときに、目的がないのじゃないか。だから、村に住み着いても、生きがいをつかみきれない。

東谷 余談になりますが、優秀な青年は村外へ流出し、町でスクラップになった私みたいな者がUターンして村へ戻ってきている。司会 すると我々はスクラップの集まりですか。(笑)

しかし、それであればあるほど、受入れ側、つまり村行政や地域、各職場の、しっかりした受入れ体制や青年研修が必要ということでしょうか。

南木 青年自身も、自分本位にしか物事が見えない。これではいけませんね。性格面にしても、自分を変えなければならぬ場面も出てきます。特に接客業をしていきますと、よく考えさせられます。

小松美 青年の大きなうねりは目に見えないけれども、馬路村の人は燃えている、という印象が強いのですが。

〇〇〇〇〇〇〇〇

**青年の活躍できる  
機会と場所を**

司会 その燃えている青年について、今後の活動は。

小松博 やはり、若い娘さんを大切にせんといかん。娘さんが一人おったら、男が五人ぐらい集まりますよ。

東谷 それと、青年活動の拠点作りが必要です。青年期は、もともと議論好きですので、時間に制限されずに話し合える場も。飲み会も必要です。

清岡 そうです。私の経験から言っても、良い知恵は飲んだときに出来ますね。ただ、飲み過ぎると次の日には昨夜のことを忘れる人もいますが。もちろん、この場にはいません。(笑)

教育長 やはり、青年団をぜひ作ってもらいたいですね。そうして、どんどん村政の場でも活躍して欲しいと思います。

清岡 若い者のアイデアには、若い者が共感します。具体的な提案はできませんが、商工会としても、村内青年がまとまって、一つのイベントを実行する。そんな計画もしてみたいと思っています。

**ねむろついでには  
でびろな「村おこし」**

司会 話題を少し変えたいと思います。村おこし、村おこしと叫

ばれています。現在、馬路村は寝ていますか。

清岡 国有林野事業が、村経済の中心となってきた歴史的な経過もあってか、村民そのものにサラリーマン気質が強いですね。だから、厳しい時代になっても、眠りから目をさましきれないような気がします。

小松博 私の年代層には、将来に向けての危機感があります。次代の子どもに、何かを残してあげたい。住みよい馬路村にしたいなどのね。

小松美 お互い、研修の場でも言いたいことが言えないような、この人とあの人は親せきだからなどと、会話が制限されることがありますね。そうすると、人間関係が閉鎖的でマンネリ化するのではないのでしょうか。地域でも職場でもそうですが……。

司会 今後の「村おこし」の方角については。

清岡 工芸を突破口にしたいですね。この場合の工芸は、広い意味ですけれども、とりあえず木工芸をメインと考えています。それと、高齢者、老人層の人たちにもこの生産過程に参加してもらって、生きがいを持てるような体制作りも必要でしょう。

小松博 シイタケ一つをとって、森林組合まかせではなくて、もっと生産基盤を広げたいですね。

**おくられている  
人づくり**

清岡 そうですね。工芸の面でも、家内工業的にやっていく要素と、現在の工芸センターのような集中作業工場、この二本立ての振興をはかりたいと思います。

それと、馬路村は、木材の質ではほかの工芸産地より優れていても、現実の対応が遅れています。これは、「人づくり」の面で遅れているということになるでしょう。今後は、研修などにも力を入れたいですね。

田中 その場合、青年についても、企業研修として、いろいろな会議などへ出席させてもらえるようにして欲しいと思います。

司会 最後に一言。  
岩城 木工芸をやっている者として、先進地の作業工程などを研修したいですね。

小松美 温泉を利用した寝たきり老人などの保養施設があったらいいですね。個人的には、男性がタンパク質なら、私はビタミン剤の役割が果たせたら嬉しいですね。

南木 高知県の馬路温泉から、四国の馬路温泉へ飛躍させたい。

東谷 現在、ワサビ栽培などを行っていますが、国有林の開放を働きかけて欲しい。

小松博 村としても、今後一層、林道の開設延長をお願いします。

# 魚梁瀬営林署長に

## 山川清水氏赴任

春の異動で、魚梁瀬営林署の酒井功署長が、東京営林局へ転任となり、後任として山川清水氏が、高知営林局から赴任されました。山川署長は高知市のご出身で、現在五十二歳。ごあいさつを兼ねて、今後の抱負を語ってまいりました。

### 地域に根ざした

### 国有林経営を

魚梁瀬営林署長

山川清水



黄緑の木々の芽が湖畔に映え、四季のうつろいや小鳥のささやきを、自然と人間のふれあいをいながらにして体験できる、明るい都会的センスの魚梁瀬。  
この魚梁瀬営林署に、四月三日着任しました。

昨今、国有林野事業を取り巻く状況は、材価の低迷、伐採量の制約、借入金の利子支払、および元金償還の増大など、ますます悪化しています。  
このような情勢の中ではありますが、地域社会に根を下ろした国有林経営を推進していきたいと、

山村地域振興への寄与。などの重要な使命を果たしていく中で、地域的品種としてのヤナセ杉につきましても、製材用資材、伝統的な工芸品などへの安定的な原木の供給を推進していかなければならないと考えています。  
また、分収造林制度を活用し、林業への参加の機会を積極的に提

考えています。

このことは、これまでも国有林野の管理経営を通して、地域のみなさんや地方公共団体などと緊密な関係を維持してきたと考えていますし、また、今後においても、  
○ 林産物の計画的、持続的な供給。  
○ 国土の保全、水資源のかん養、自然環境の保全形成、保健休養の場の提供など、森林の有する公益的機能の発揮。  
○ 国有林野の活用、国有林野事業の諸活動と、これに関連する地域の産業活動などを通じた農山村地域振興への寄与。

供するとともに、都市と山村、親子と、先生と生徒などが共同して行う森林づくりの推進にも、努めていかなければならないと考えています。

本年は、「全世界が地球の緑の危機を自覚し、森林の保全と造成の運動を展開する」ことを基本理念とした「国際森林年」でもあります。

当署では、国土の緑化に積極的に参加していただくため、分収育林（緑のオーナー制度）の募集を行うことを予定していますので、奮って応募していただきたいと思っています。

私自身といたしましても、仕事に対しては情熱を傾けて、最善の努力をいたすつもりでありますし、村民としての地域の諸行事にも、すすんで参加し、ご懇親をいただきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

# 昭和59年度 村定例表彰



大野 盛さん

馬路村表彰規則による定例表彰が三月二十六日に行われ、永年公職にあり、村政の振興に多大の功績をおさめられた大野盛さん（78）が受賞されました。  
大野さんの主な経歴は次のとおりです。

○昭和二十二年九月～四十三年五月 役場農地主事 ○四十六年一月～五十四年一月 村議会議員 ○五十年七月～五十三年七月 農業委員会委員 ○四十五年四月～現在 文化財調査委員会委員

# 教育の窓



### 転出された先生

（ ）内は馬路村での在職年数、および転出先

- 馬路小学校 ▲
- 竹村知子（三年、赤岡小）
- 魚梁瀬小学校 ▲
- 森下定雄（二年、退職）
- 和泉美恵（一年、退職）
- 馬路中学校 ▲

### 転入された先生

今年、新しく転入、または村内で転任された先生は、次のとおりです。

よろしくお願ひします。

#### ▽紹介事項△

- ①氏名 ②年齢 ③出身地 ④前任校 ⑤出身校 ⑥職名・担任・教科 ⑦趣味 ⑧抱負

# 馬路村内 教員の異動

四月一日付で次のように異動が行われました。

馬路小学校



①篠原 みほ

- ②22歳 ③東洋町 ④新採 ⑤広島大学 ⑥4年生 ⑦バレーボール

⑧今年の三月に大学を卒業したばかりの若輩者で、経験も力量も持ち合わせておりませんが、精一杯がんばりたいと思います。

魚梁瀬小学校



①平山 喜敬

- ②56歳 ③安田町 ④安芸第一小 ⑤拓殖大学 ⑥校長 ⑦史跡探訪 ⑧清流の地、新緑につつまれたさわやかな環境の中での教育推進にかえりぎきをしました。この地域での純朴な、しかも次代を担うかけがえのない子どもの教育を想うときに、これからの激動する社会の荒波はさけて通ることは不可能です。そのためには、おのれの考えや行動を律し、人生をねばり強く切り開き、内面的にも感性豊かな、思いやりのある子ども像を念頭において、知・徳・体の調和的

発達を目ざす教育をすすめることが、大切であると考えます。前途多々不安もありますが、職責の重大さを自覚し、努力を惜しまない所存です。

馬路中学校



①竹内 甚吉

- ②57歳 ③安田町 ④奈半利中 ⑤高知師範学校 ⑥校長 ⑦川柳・囲碁

⑧「笑う山を見あげて笑うこいのぼり」

五月は山が実にきれいです。恵まれた自然の中で仕事ができるのはうれしいことです。過疎化現象の中で、生徒数が減少することが、おたがいにさびしいことですが、小規模校のよさを十分発揮して、自立的でたくましい人間づくりを努力したいと考えています。



①市川 博巳

- ②56歳 ③安田町 ④吉良川中 ⑤高知師範学校 ⑥数学・理科 ⑦特になし ⑧学校目標にそった人間の育成に努めたい。



①横山 拓

- ②51歳 ③田野町 ④吉良川中 ⑤高知大学 ④一年主任・英語 ⑦卓球・社交ダンス・読書 ⑧一人立ちできる、正しい社会観を持った生徒を育てたい。



①前田 智査

- ②40歳 ③北川村 ④羽根中 ⑤共立女子短期大学 ⑥国語・家庭 ⑦読書・手芸 ⑧小規模校ならではの目新しい教育活動に新鮮さを感じながら、はりきって過ごしております。本校では少人数の特性を生かして、力をつける学習方法を探ってゆきたいと考えております。



①萩野 健一

- ②37歳 ③安芸市 ④馬路村教育委員会 ⑤国土館大学 ⑥体育・社会 ⑦釣り ⑧自分のやれることはすべて出し切り、学校や村のために努力したい。

魚梁瀬中学校



①新井 利房

- ②55歳 ③奈半利町 ④田野中 ⑤高知大学 ⑥校長 ⑦川釣り、特にアユのおとりがけ ⑧今はもうない小島中に、以前のこと、五年間勤務した以外はすべて、海岸ぞいの学校でしたので、久しぶりに大自然の香り一杯のこの土地に勤務できるようになったことを幸せに思っております。冬の寒さのきびしいこと、単身赴任のわびしさを除けば、すべてのものが恵まれた条件にあると感謝しております。土地に不案内であり、まだ微力な者でありますので、地域のみなさまにご心配をおかけいたすことも多いかと存じますが、研修をつみ、地道な努力を重ねていきたいと考えております。



①別役 豊子

- ②37歳 ③安芸市 ④畑山中 ⑤徳島女子大学 ⑥養護・保健 ⑦読書・手芸 ⑧美しい自然とゲームのあるまち、魚梁瀬にて、子どもの健康を守り

育てていこうと思っています。



①山中 理史

- ②32歳 ③馬路村 ④馬路中 ⑤同志社大学 ⑥一年主任・理科・数学 ⑦観葉植物・読書 ⑧新しい気持ちで、生徒とともにがんばりたいと思います。



①浜渦かおり

- ②23歳 ③奈半利町 ④北川中 ⑤橋女子大学 ⑥国語・社会 ⑦読書 ⑧生徒といっしょに考え、学んでいきたいと思ひます。



①黒岩 彰子

- ②23歳 ③奈半利町 ④なし ⑤徳島文理大学 ⑥音楽・美術・家庭 ⑦ピアノ ⑧この四月に魚梁瀬に来たときは、桜の花が一番きれいなときでした。あの何ともいえず美しいながめが、今でも目に焼きついてます。空気がおいしい、この魚梁瀬で過ごすことができると嬉しいです。

# 子どもたちの目

## わたしの馬路村

青少年育成馬路村民会議が「馬路村」について募集した作文のなかから、今回も二点を紹介します。子どもたちの作文には、私たちがお忘れかけている「自然の大切さ」や「マナー」などが、率直に書かれています。空カンを捨てっぱなしにしているあなた、これを読んでどう思いますか！

(なお、この作文は昨年度に募集したのですが、学校名・学年は、現時点のものです。)

### 自然がいつばい

馬路中二年

伊場靖香



馬路村は、山を見ると全体がどこにもないイキイキした色の山で、川を見ると、アユやアメゴ、ハエやモツゴなど、どこにも見られな

いようなすきとおった色の川。この自然は、馬路の自慢でもあり、馬路の宝物でもある。

そして、馬路村の特産物は、自然の山からとれる、シイタケ、ユズ、魚梁瀬スギ、そして川でとれるアメゴ、アユ、マスなどです。

観光に来る人たちは、三宝山へ登って、屋外運動をやったり、見晴らし台から馬路村をながめてみたりして、馬路の自然を持って帰ります。川にしても、魚を釣ったり、しゃくったり、キャンプをしたりして帰ってきます。

たぐさんの観光客の人たちが、やってきている今だけど、あと十年ぐらいするとどうだろうか？まだ、観光客がたくさん来る村だろうか？

今は、職業などが無いといって、都市へ働きに出る人がたくさんいます。小さい村は、たちまち人数が減り、廃村になる村も少なくはないのです。

馬路村はどうだろう。今の小学校なんかは、複式学級ができていて、四年生なんか三人しかいないし、五年生は男子が一人だ。これから先は、まだまだ人数が減っていくのではないだろうか？ 廃村なんかになると、みんな村をひきはらって、都市へ出て行かなければいけない。そんなことになるの大変だから、もっと職業がいるし、自然開発をして、たぐさんの観光客に来てもらわないといけない。

私は、汚れきった都会なんかはきらいだ。馬路村が好きだ。大好きだ。どこよりも好きだ。自然につつまれた山の子のままでいい。だから、絶対に廃村なんかにはない。それは、だれも同じ気持ち

だと思っ

これからも、観光客の人に来てもらって、馬路の良さを知ってもらって、親しんでもらいたいと思う。みんなが自然を大切に、自然の中でとれる特産物を大切にしていきたいと思う。

観光客のみなさん。「自然が自慢。自然が宝の馬路」へ来てください。そして、特産物をおみやげにどうぞ。

### 素敵な馬路村にするために

するのために

魚梁瀬中三年

小原久美



「よい馬路村にするための作文」を書きなさい」と言われた。

「うん。なんて難しい題なんだ」と、頭をかかえた。悩んでいるうちに、休みも半分を過ぎ、残り少なくなってしまう。だから、もう悩んでも仕方ないので、簡単に考えて、簡単に書くことにしよう。

まず、「きれいな馬路村」にしたい。たしかに、山や川があつてきれいだと思うが、ゴミ(空きカンや空きビン)が、えらくそこらへんに散らばり過ぎている。

一学期に一回の地域清掃でも、

みぞや公園、ダムの周りに、たくさんゴミが捨てられている。たぶん車からの投げ捨てで、みぞやダムの周りが汚されているのだと思う。それほど荷物にはならないと思うので、持って帰るといことをしたらよいと思う。

公園に捨てられているゴミは、不思議だ。たしか、ゴミ箱を置いてあるはずだ。ちょっとそこからそこまで歩けばいいのに、それをめんどくさがっているんじゃないかな。どうしようもないんじゃないかな。ゴミ箱も、ゴミ箱の役目を果たせていないんじゃないかな。





## 登校拒否症

本人の気持ちの  
変化したい



前号で紹介した高校一年生のA子さんに、変わってきた気持ちを聞いてみましょう。

今まであせってばかりいて、ガムシャラにやっていたんですけど、そんなに他人ばかり気にしていたら、社会に出ても、自分より上の人はいっぱいいるわけでしょう。そしたらまたそこで振り回されて、「自分は駄目だ」なんて思って、そこから抜けられなくなってしまふ。勉強するときは勉強して、お友だちと遊ぶときは遊んで、そのときそのときでやっていけばいいんじゃないかと思って……。少し甘いかもしれないけど……。

昔の自分は、小さいころから、コセコセして、明日テストがあると思うと、すごくわめいたなんて、母が言うのです。中学時代、あまり勉強ばかりしていて、「張り切ったゴムみたいだ。いつかは切れてしまふよ」と担任の先生に言われたことがあつた。

一時、転校も考えました。でも、ほかの学校に移ったとしても、そこに進学に厳しい先生がいて、ギューギューやられ、いやになって休んだら何にもならない。今の学校でテストのことも何も気にしないで、勉強もすれば、クラブもする。そのために成績が上がるとか、下がるとかなんてこと気にしないでやっていこうかと思っています。「人にはそれぞれのペースがあるし、自分は本当に他人とは違うんだ。」

努力して、できなくっても、それは仕方がないし、ガムシャラにやっても、それ以上進めないときは、もうしょうがないのだから……。

A子さんの心中の思いがよく述べられています。

とらわれていた自分から解放されると、心が気楽になって、学校へ行くことができるのです。

友だち、先輩、先生との交わりや指導の中で、ありのままの自分を見つめ、弱いところも、醜いところも率直に受け入れることができるようになると、自由になり、融通性ができるのです。

資料 「登校拒否」 学事出版

車からの投げ捨てにしても、公園のゴミ箱のことにしても、一人一人がちょっと気をつけていけば、ゴミは少なくなっていくと思うし、もっともっと「きれいな馬路村」になる。

ほかには、「明るい馬路村」がいい。具体的にいえば、あいさつ。「おはよう」、「こんにちは」、「さようなら」……。ほかにもいっぱいいっぱいある。そんな言葉が、もっと自然に交わすことができるようになりたい。

でも、あいさつをしてもこたえてくれない人がいるので、しゃくにさわる。だから、私は人を見てあいさつをする。どつという意味かどつうと、あいさつをしてこたえてくれそうな人にだけするのだ。どつうのは、間違っているとは

思うのだけれど、こたえてくれなかったらやっぱり腹が立つのでいやだ。でも、ちょっと考え直してみれば、あんなのかもしれない。うん、やっぱりお互いに、声をかけ合う方がいい。

結局、最後には、「きれいな馬路村」と「明るい馬路村」というこの二つしか考えつかなくったけど、もし、この二つがかなえられ

たとしたら、馬路村は、今よりもっと素敵になると思ふ。

- 車からの投げ捨てはやめる。
- 公園のゴミは、ゴミ箱へ入れる。
- あいさつをする。
- あいさつにこたえる。

別に、これといって難しくはない。きつとできると思ふ。



6月4日-10日  
歯の衛生週間

歯みがきは「磨く」のではなく

「こすり落とす」

むし歯は、口の中のミュータンスという菌が引き起こします。この菌は、口の中にいつもいて、主に糖分を栄養に繁殖します。食事のたびに、いろいろな食品が口に入り、それらの糖分を栄養としてミュータンスは増え、歯垢となつて歯の表面にくっつきます。この歯垢の中にできた「酸」が次第に歯を溶かしていきます。これがむし歯なのです。

ミュータンスの塊、つまり歯垢を取り除く必要があります。正しい歯みがきは、歯ブラシで「磨く」のではなく、実はこの歯垢を「こすり落とす」といった作業が大切なのです。



# くらしと人権

## 歴史をとおして考える

女性史研究家

もろさわ よう子

部落差別は、いろいろな歴史的展開がありますが、いまの被差別部落がきちんとつくられ厳しく統制されるようになるのは、徳川時代からです。

徳川政権は、その体制が揺らぎだすたびに、部落差別をより厳しいものにしていきました。

徳川時代の人口比率をみますと、農民が全人口の八四％をしめ、武士は七％、工・商が六％、その他が三％とされています。(その他の中には僧侶や神官も含まれていますが、大部分は被差別部落の人たちがしめました。)

このように、徳川封建体制は農民たちによって支えられましたが、幕府は、農民たちを「生かさぬよう、殺さぬよう」に、厳しい年貢の収奪を行いました。

そこで、農民の抑圧移譲の「生けにえ」にされたのが、被差別部落の人びとです。厳しい年貢を納めなければならぬのですから、当然農民たちの生活はつらいものになります。しかし、「おれたちは、あの人たちよりましなんだ」と、農民たちのつらさをなだめる

ために、徳川幕府によってつくられたのが、農民たちに向って土下座をし、農民の家に行っても土間にしか座れなかった被差別部落の人たちの存在なのです。

このように、被差別部落は近世封建制社会の土台石となったわけですが、もうひとつのいしずえとなったのが、官許売春制度です。

男たちは、年貢上納の義務を負わされましたが、「年貢を上納できない場合は、妻子を売ってでも納めること」とされていました。

これは、年貢の義務を負うかわりに、妻や子どもを奴隷化すること

を許されたことになるわけです。年貢上納を義務づけられた男たちもつらいけれど、売り買いの対象にはされませんでした。ところが、女たちは夫から、産まれた子どもは自分のお父さんから売られたのです。人身売買は表面き禁じられていましたが、前借りとかたちで売り買ひされたのです。

女たちが売られる場所がどこかというと遊廓です。この遊廓というのは、ここで女の肉体を売買してもよろしいとされた「指定地」

だったのです。

戦前、私たちの母の時代まで、「三々九度の盃をするまで夫の顔がわからなかった」というようなことが、地方ではどこでもあったようです。

私が結婚のあたりを東北に調べに行ったときに、あるお婆ちゃんに言いました。

「私は自分の夫が一週間ぐらいわかりませんでした。どうしてそんなに長い間わからなかったかというと、三々九度をするとき、ジロジロ相手の顔を見るわけにはい

ません。まっすぐに顔をあげていたらはしたないということ、いつもうつむいていなきゃいけませんでした。そして大家族で、若い

同じような年齢好の人がジロジロいたのです。そんなことで、自分の夫がどれかわからない。一週間ぐらいたったときに、『おい、このモモヒキをツギしてくれ』と

投げてよこした。紺モモヒキにツギを当てて、『あっ、あのツギをはいっている人が、私の夫なんだなあ』と、やっと確認できました。」

そこに集まっていたほかのお婆ちゃんたちも、二日や三日では自分の夫の顔はわからなかったという

ことでした。顔もわからない男と結婚させられるのは、今から考えると本当に無惨ですけれども、意識を収奪さ



れて、「これはこうだ」と思い込まされると、それがあたりまえになる。奴隷化されきった人間の意識というのは、恐いものです。

身分差別の存在する社会では、その男の人がどんなに優れた能力を持っていても、生まれた身分に

制約されますから、一般の男たちもまた、抑圧に満ちています。その抑圧を、「こういう社会制度があるからだ。こんな封建体制を倒してしまえ。」という方向に向けないように、封建支配者たちは考えたのです。

男たちを去勢してしまうには、性的に退廃させることが一番です。女を男のオモチャにさせることによって、その抑圧を晴らさせたのです。徳川家康の残したといわれる「成憲百ヶ条」の中には、「売

春というのは、なくてはかなわざる

ものだ」という意味が書かれています。

つまり、売春制度は、男が抑圧に満ち、結婚が愛において行われず、家を存続させるために行われるような、そういう人間関係の悲惨な状況を存続させるためには、なくてはならないものだったので

す。このように、人間が商品化されていく過程で、売春があらわれ出てきています。

ですから、嫁に行つて一週間も夫がわからなかったお婆ちゃんたちが、こう言いました。「嫁は、牛や馬よりも大切にされませんでした。牛や馬は、お金を出して買わなければいけません。嫁は、朝飯前に牛や馬の飼葉の草を刈り、病気になれば牛馬は獣医にみてもらえたが、嫁は里へ帰されました。」

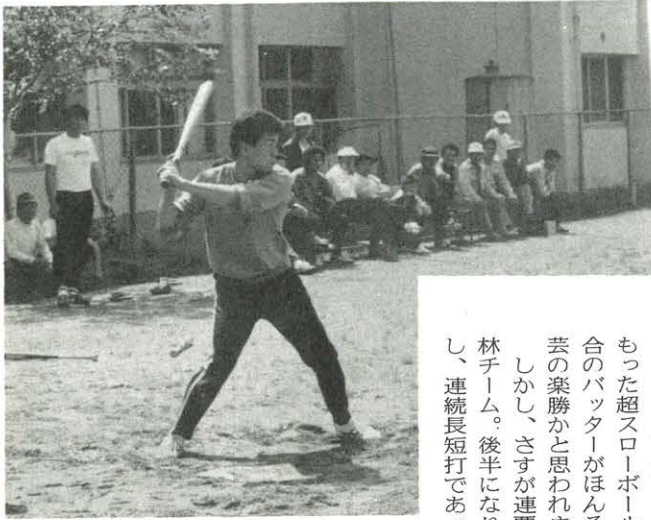
そして、こうも言いました。「売られたものなら年があるが、嫁には年がないのがつらかったものだ……。」

つらい嫁の立場よりも、さらに苛酷な状況にある女たちや、被差別部落の人たちをながめ、ひとの不幸で我が不幸をなだめて生きていたのが、封建体制下における日本の働く人たちの歴史だったのではないでしょうか。

(以下、次号へつづく)

高知県教育委員会発行

「人権への道」より



↑同僚の声援にこたえてサヨナラヒット



カーン！音のわりには？



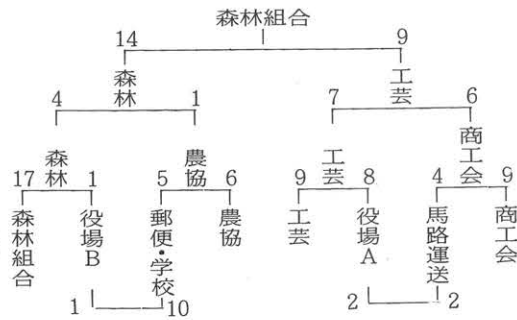
# 馬路地区職域ソフトボール大会

## 森林組合三連覇・工芸大健闘

昭和六十年年度馬路地区職域ソフトボール大会が、四月二十日、馬路村民運動場で開催されました。今年も、八チームが参加し、Bゾーンでは初出場の工芸チームが、役場A、商工会の強豪を破り、決勝戦へ進出。Aゾーンからは、二年連続優勝をねらう森林組合が決勝へこまを進めました。

決勝戦では、前半は工芸チームのエース、乾美璃子さんの力のもった超スローボールに、森林組合のバッターがほんろうされ、工芸の楽勝かと思われました。しかし、さすがに連覇に燃える森林チーム。後半になり地力を発揮し、連続長短打であっさり逆転。

結局、十四対九で森林組合が優勝をかざりました。



## 第2回馬路村内

### ピッタリタイム駅伝



←力走する第四区の選手たち

第二回馬路村内年齢別ピッタリ駅伝競走は、三月二十三日、魚梁瀬虹のマラソンコースで行われました。

当日は晴天に恵まれ、職場の仲間や家族などで構成された十人チーム、八十四人が参加し、なごやかな雰囲気の中に、午後二時三十分スタート。

前半三区間、後半三区間の合計六区間、十二・四キロで、選手たちは、それぞれ自分の提出したタイムに、いかに近く走るかを競いました。

主な結果は次のとおりです。

▼総合順位▲

優勝—郵便局・役場連合

誤差 2分2秒

二位—消防A 誤差 2分18秒

三位—西川事業所 誤差 2分30秒

▼区間賞▲

第一区—五百蔵浩二 誤差 5秒

第二区—手島和彦 誤差 7秒

第三区—橋口福男 誤差 7秒

第四区—山崎理加 誤差 6秒

第五区—家野本孝志 誤差 8秒

第六区—関充利 誤差 1秒

第六区—手島和広 誤差 0秒

# 馬路村の歴史と伝説



<八>

金林寺薬師堂

馬路公民館長 山中 巖

金林寺(寺)は、月光山珠勝院金林寺といわれ、百数十年前は、七間に六間(一間は約一・八m)の力やぶぎの寺で、今の営林事務所の寮のところに建てられていました。明治三十八年に火災のため焼失、跡地に小さな草庵が再建されました。現在の金林寺は、ご承知のとおり、昭和十九年に薬師堂の境内北側に新築移転されたものです。

本尊は阿弥陀如来で、ほかに聖観音、懸仏、弘法大師の像が安置されています。

寺の玄関の右側に鐘が一つつるされていますが、今から二百八十余年前に、馬路村の九郎左衛門が寄進したものです。

また、貴重な鰐口(仏堂の軒につるし、参拜のときに鳴らす大きな鈴)が残されています。この鰐口には、「応永三十三年八月十七日(五百五十九年前)、鴨氏新左衛門が金林寺に施し入れ奉る」と

記されています。

この鴨氏という名前は、熊野神社(馬路)の棟札にも見られます。すなわち、永正十六年己卯十二月吉日(四百六十六年前)、大檀那として、加茂氏信繁平左右衛門尉が記されています。

鴨氏は、室町時代から戦国時代にかけて、馬路地区で、有力者の一人であったことは間違いありません。

一般的には「系図」によって、家系がわかります。しかし、現在では、「系図」が必ずしも正しいとは考えられていません。なぜなら、いつわりの「系図」がたくさん作られてきたからです。

これに比べて、鰐口や棟札に記された名前や事柄は、全部とはいえないまでも、間違いないものと考えられます。

前に述べた鴨氏ですが、残念ながら詳しいことはわかっていません。

↓金林寺に残されている鰐口 (直径20cm)



郷土史家の宮地森城氏は、「土佐国古城略史」の中で、馬路城の城主、馬路若狭守(庄屋の先祖)の祖先ではないだろうか、と述べられています。

しかし、庄屋の「系図」には、鴨氏の名前は見あたりません。

今後は、この鴨氏の研究の成果によって、馬路村の歴史が大きく書きかえられる可能性もあります。また、私事になって恐縮ですが、本年三月、県文化財保護審議委員の前田和男先生と一緒に、金林寺薬師堂の巡視に行つたとき、一つの重大な発見をしました。

それは、薬師堂の本尊厨子の天井に、墨書の一部が見つかったことです。この墨書の全文がわかれば、内容によっては、薬師堂の文化財的価値をさらに高めることに

なるでしょう。

古来から由緒ある金林寺薬師堂ですが、昭和五十七年三月、薬師堂は、県の有形文化財に指定されています。私たちは、さらに国の重要文化財に指定していただくよう、努力をいたしております。村民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、不十分ながら、八回にわたって、金林寺薬師堂について記してきました。まだまだ史実や伝説がたくさん残されていますが、これらについては、稿を改めたいと思います。

次号から、馬路城・魚梁瀬城・能登守平教経の屋敷跡などの史実や伝説をおして、戦国時代・源平時代の郷土の動きを考えてみましょう。

## 役場新採職員のご紹介

四月一日付けで、役場の新しい職員として、一般行政職、山崎出君(20歳、高知高卒、魚梁瀬)と、魚梁瀬小・中学校給食婦、山中真生さん(24歳、中芸高卒、影)が採用されました。お二人から抱負を一言……。



山崎 出

趣味は音楽鑑賞。スポーツはソフトボール(ピッチャー)と柔道をやっています。地元の役場で働くことができ、大変うれしく思っています。一所懸命がんばりますので、よろしくお願いします。



山中 真生

今年の二月に、田野町から馬路へ嫁いできました。

趣味は、レコード鑑賞と編み物。スポーツは、ソフトボールとバレーボールが得意です。地元の人たちとの交流を大切にしていきたいと思います。



## 馬路 新婦人会長

国広安子

梅がほころび、桃開き、桜花の季節もアツという間に去り、萌える新緑が目にしみる初夏の候、みなさま農繁期の足音に追い掛けられ、気ぜわしい毎日を送られていることと思います。

このたび、思いがけなく式部佐由里さんの後任として、馬路婦人会長の大役を命ぜられまして、非力・未経験の私には大変な重荷で、とまどっています。

幸いにも、優れた副会長を選んでいたいただき、経験豊かな会員のみなさまに、教え助けていただいて、誠意をもって務めさせていただきますので、どうかよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

今の世は、あまりにも豊かであり過ぎるためでしょうか、青少年の不良化や、成人病が多くなり、

また、高齢者の世話など、婦人の背負っている役割は多く、責任の重大性を痛感しております。

このように、婦人に対する要求が増大している現在、婦人会も各種団体との交流を深め、知識をひろめるなど、家庭づくり、村づくりにおける婦人の役割を果たす努力をしていかなければならないと思います。

そうした重大な時期に、私には荷が過ぎますが、微力ながら一所懸命務めたい所存でございますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

## 馬路婦人会

のうごき

婦人会総会 4月9日

桜の花が散り始めた四月九日、馬路婦人会は総会を開き、事業報告・決算報告・監査報告・質疑応

答が行われました。また、健康づくり婦人会による、決算・監査報告も同様に行われました。

その後、任期満了による役員改選が行われ、婦人会を一段と盛り上げ、多方面に手腕を振るった式部佐由里会長にかわり、国広安子さんが選出され、副会長二名が選出されました。

数々の栄誉に輝き、村民の奉仕者として活躍してこられた式部会長の引退、役員一同は、「星かげのワルツ」で総会を閉じ、新役員にバトンタッチをしました。

新しい役員は次のとおりです。

- ▽会長 国広安子
- ▽副会長 岩城佳子・小松美和
- ▽会計 笹岡久子・南 潔子
- ▽書記 林 裕子
- ▽監事 井上一美・式部佐由里

## 新役員会 5月7日

晴天続きのゴールデンウィークの終えた五月七日、馬路婦人会は新役員による会合をもち、新役員顔合わせの後、本部の運営・事業計画について検討しました。

また、適材適所にをモットーに、保健体育部・事業部・教養部・文化芸能部の部長・部員が選ばれ、さっそく保健体育部は、ゴキブリ駆除の葉づくりに、教養部は広報活動へと、活動の一步を踏み出しました。

## 郵便局 だより

# とても便利です

郵便局の

# 自動払込み

本年4月から、馬路村の水道料金が、郵便局の通常貯金口座から自動的に払込みができるようになりました。ぜひ、ご利用ください。

### 〇お申込み手続はカンタンです。

あなたの通常貯金通帳と印鑑に申込書をそえて、馬路郵便局、または魚梁瀬郵便局の窓口にお出しただけです。

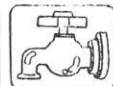
### 〇おトクで便利な「総合通帳、のご利用を！」

払込金が引き落とされるまで、通常貯金に預入しておくことができますから、大変おトクです。なお、「総合通帳、ですと、万一、お支払の日に残高が不足する場合には、定額貯金を担保に自動的に貸付けられますので、とても便利です。

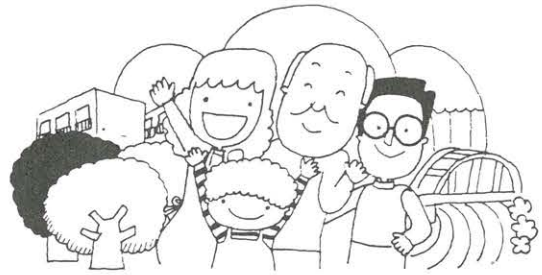
### 〇そのまま家計簿に

おついでのとどきに、郵便局へ通常貯金通帳をお持ちになりますと、お支払が、正確に記入され、そのまま家計の記録簿になります。

なお、従前から、電話料やNHK受信料は自動払込みの取扱いをしておりますので、併せてご利用ください。



# のひろば



## よる老祖母の死

魚梁瀬

Y・K生

私たちは、時計の針が一秒一秒と時を刻むように、日一日と確実に年をとっていく。

地球が誕生して五十億年、人類の祖先がこの地球上に出現して、約百万年の歳月が流れている。

どんな子どもでも、この大地に命を受けた瞬間に、大気を思い切り吸うものである。

そして、それから六十年、七十年、八十年、ある人は九十年、百年と、自分の生命のあるかぎり、生きつづけるのである。

ある日、一人の老女が、ベットの上で静かに息を引き取った。

彼女は、胃ガンに侵され、自分の生命が燃えつきるまで、もう長くはないと感じ、毎日いろいろな言い残す言葉を考えたのであろう。某日、静かにペンを執って、次のように走り書きをしたのである。

先日は遠路わざわざお見舞いいただき、ありがとうございました。三十一年もの長い歳月を、私ごとき何のとりえもないものを、これまでよろしくお引き立てくださ

いました。

私は、第二の故郷として暮らしてまいりました。みなさまのおかげさまで、うれしくございました。私も、近きうちに旅に出ます。老人クラブ会合の節、ご一同さまに、くれぐれもよろしくご伝言くださいませ。

いつまでも、いつまでもお元気で、ご長命のほど、お願いいたします。

五十五年二月 〇〇〇〇

まごころをうけてうれしいひとしく幾年か住みにし里がなつかしく別れを惜しむやなせだまチコよチコよと呼ぶ声を永遠に忘れないこれチコよ

以上は原文であり、チコとは、彼女がかわいがっていた小鳥のことである。

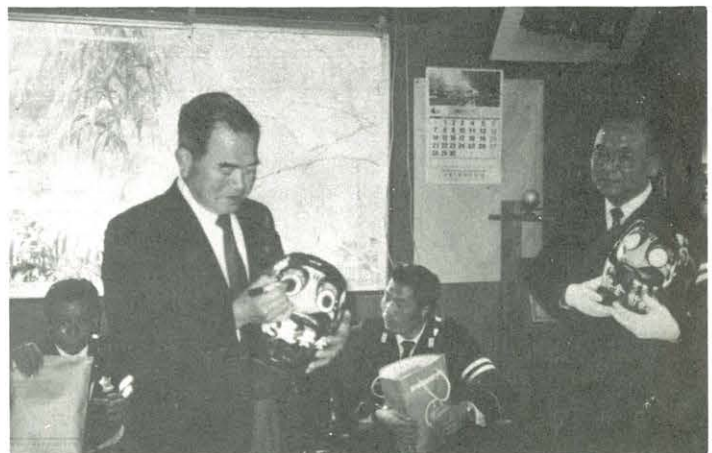
彼女が息を引き取ったのは、五十五年の七月ごろであった。

私は、この遺書を八月に発表しました。静かに天国に去った彼女の冥福を祈りながら……。



## 交通事故ゼロを願って

馬路村交通指導員 栗林 栗穂栄



→ダルマに目を入れる小松村長

がっていないものの、高速運転での検挙率が県下でも上位にランクされるなど、ドライバーのモラルがとわれる面もあります。

今、村長室には、昭和六十年用のダルマが片目のままですわっています。

来年の四月には、このダルマにも目を入れることができるよう、ドライバーのみなさまはもとより、歩行者の方々も交通ルールを守りましょう。

三年前から毎年四月に、安芸郡市の市町村長に、目のあいてないダルマが贈られています。このダルマは、安芸警察署長と交通安全協会安芸支部長から交通安全を願って贈呈されたものです。今年も、五十九年度交通事故死者ゼロの達成を祝って、四月六日に、馬路村役場村長室でのダルマに目が入られました。これで二年連続して、ダルマに両目があいたことになりました。しかし、死亡事故にこそつな

# みんなで 村民

季節のイベント  
いたどりの皮はぎ



## はじめまして 馬路の 駐在です

四月一日から、当馬路駐在所に勤務している、浅学非才の幡多男です。よろしくご指導をお願いいたします。

現代人は、事故や犯罪と隣り合わせに住んでいます。交通事故だけをとり上げてみても、毎日のように、どこかで起こっているし、われわれの身の回りにも事故の関係者がたくさんいます。

現在、犯罪は広域化、スピード化に加えて、大規模化する傾向にあります。

警察では、このような事故や犯罪に対処するため、事件が発生したときには、すばやくいろいろな情報を集め、巡回中のパトカーや警察官に手配して、犯人の逮捕、事件の解決につとめています。

身近に起こった事故、犯罪などをいち早く警察に知らせていただくために「110番」が設置されています。殺人、強盗、暴力団のいやがらせ、交通事故などの事件や事故だけでなく、次のようなときには「遠慮なく」「110番」を利用していただく。



資 正 兵 等

○ポスターや、テレビなどで見た犯人とよく似た人を見かけた。

○夜間、学校や事務所などの付近をうろついている人を見かけた。

○夜間、空家であるにもかかわらず、家の中から明かりがもれたり、物音がしたりする。

○その他、不審な行動をしている人を見かけた。

また、警察に対するご意見、ご要望、村内交通施設などの問題、家族の心配ごとや悩みなどがありましたら、馬路駐在所(番四二二一〇)までお申出ください。



## 馬路・魚梁瀬 俳句会

喜美栄

春満月ひとりで祝う誕生日  
子等の顔浮かんでくるや春惜しむ  
菜種梅雨風音もそらしまい風呂

雅子

月変わりチギリ絵のひな額に入る  
さらさらと生きいきと波春の海  
此の雨の裏にイタドリ芽を磨く

千鶴子

長閑なり大正琴のひびく寺  
うららかなや婚の日近し父無口  
痴呆症笑えぬ明日沈丁花

春暁の瀬音を遠く熱はかる  
一灯となりし余寒の門を閉す  
登り来て薄紅梅と気付きたる  
百合子

母と子の声のおとさき坂おぼろ  
無人駅一人待たせて杉花粉  
さえすりや朝逢いし友臺で逢う  
善心

草崩えの道に僧衣となりて立つ  
墓掃除すませて芽木の雨を聞く  
風花も舞いてニュースに怯えけり  
麗山子

湖空に一の矢放つ浅き春  
おぼろなり墨書うすれし不動尊  
懸命に芽木ふくらみぬ男坂  
清子

## 110番おめでとうおめでとう

| 父     | 母    | 赤ちゃん | 続柄    | 月日  | 部落 |
|-------|------|------|-------|-----|----|
| 島田朝彰  | 智佐奈緒 | 長女   | 3月11日 | 魚梁瀬 |    |
| 門田弘男  | 美香拓洋 | 長男   | 3月13日 | 魚梁瀬 |    |
| 小笠原建夫 | 智香揚介 | 長男   | 3月29日 | 魚梁瀬 |    |

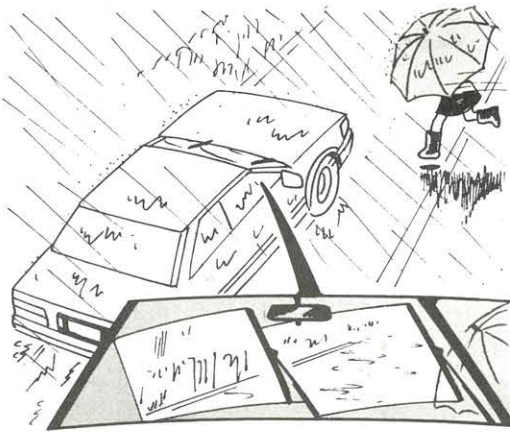
## 110番おめでとうおめでとう

| 氏名    | 性別 | 行年 | 亡月日   | 世帯主 | 続柄 | 部落  |
|-------|----|----|-------|-----|----|-----|
| 清岡亀市  | 男  | 84 | 3月19日 | 薫喜  | 父  | 相名  |
| 門田鶴千代 | 女  | 87 | 4月18日 | 正泉  | 母  | 魚梁瀬 |
| 岩城利治  | 男  | 75 | 4月25日 | 弘高  | 父  | 東川  |



# 家族で話し合おう 交通安全

## 雨の日は危険がいっぱい



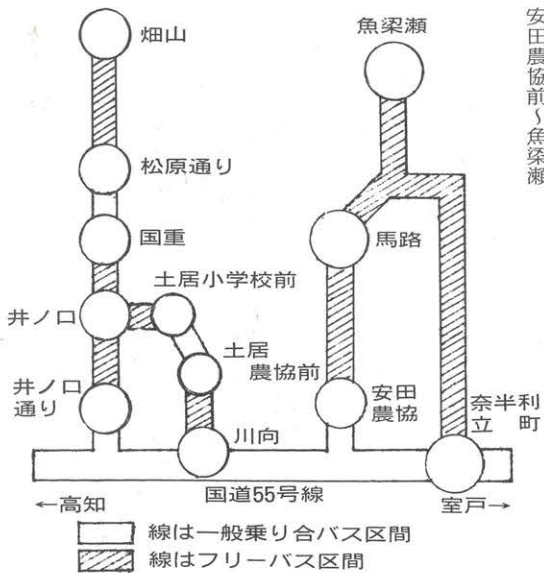
雨の日は、ドライバー、歩行者ともに交通事故の危険性が高くなります。

ドライバーの視界がワイパーでふかれる範囲に限られたり、ガラスが曇ったりしますので、前方の確認は晴れの日に比べて難しくなります。また、路面が滑りやすくなっていますので、急ブレーキをかけてもスリップして思うように止まれません。

歩行者はというと、雨のときは傘などを持っていますので、動きが鈍くなったり、足元に気をとられ、車に気づかなかつたりします。

ドライバーの皆さん。雨の日に歩行者のそばを通るときは、必ずスピードを落として走りましょう。また歩行者の皆さんは、なるべく目立つ色の服装をし、無理な横断はしないようにしましょう。

フリーバス運行路線図



- (1) 運行開始日  
昭和六十年六月一日
- (2) フリーバス運行区間  
  - ◇ 奈半利魚梁瀬線
  - ◇ 奈半利魚梁瀬線
  - ◇ 馬路經由魚梁瀬線
  - ◇ 安田農協前魚梁瀬線
- (3) バス停以外でご利用のとき  
  - ◇ お乗りのとき
  - ◇ 道路左側の安全な場所です、手を上げて合図してください。

### 便利なフリーバス(自由乗降)のおしらせ

高知県交通KK

地域のみなさまに、生活のあしとしてご利用していただいています「県交通バス」を、ますます便利な乗り物にするため、次の各区間で、フリーバス(バス停以外でも自由に乗り降りができる)を運行することになりました。乗降の方法などは次のとおりですので、ご利用ください。

↓ますます便利になる県交通バス



- ◇ お降りのとき  
押ボタンを押さずに、少し早めに運転手にお知らせください。
- ◇ 運賃は  
乗降される区間の外側の最も近い停留所間の運賃になります。
- ◇ ご注意  
①交通安全のため、曲がり角や、見通しの悪い所、交差点、こう配の急な坂、ほかの交通の支障となる所では、多少停車位置を変更させていただきます。
- ②バス停での乗降の取扱いは、今までどおりです。
- ③フリーバスの走行中は、バス停以外にも停車しますので、降車の準備、座席の移動などをされるときは、ご注意ください。

お問い合わせは左記へどうぞ。  
東部営業所 ☎0875-114008  
安芸出張所 ☎0875-151348